

令和6年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者一覧

番号	推薦者名	被表彰者	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
1	北海道	金子 亘喜	功労者	17	スポーツに親しむ機会が少ない障がい者のため、障がいのある方への指導や大会の運営など、障がい者スポーツの普及・発展に向けた活動を行っている。 また、障がいのない地域住民に対する、障がい者スポーツの認知度を高める活動も積極的に行っている。	スポーツ 普及啓発	知的障害
2	北海道	中標津音訳の会ひびき	功労者	21	主に視覚障がいのある方を対象として、町の広報紙や新聞記事等をCD・カセットテープに録音し、届けるボランティア活動を行っている。また、地元のラジオ番組に出演し、童話・小説の朗読及び高齢者等を対象とした一般向けの朗読会も行っている。	情報保障	視覚障害
3	青森県	特定非営利活動法人レアサルスポーツクラブ	功労者	15	「活動を通じて、障がい児（者）が自分らしい生活を送るために楽しみを見つけ、楽しみを通して多くの人とつながり、喜びを分かち合いながら成長できる社会づくりに貢献します」という理念の下、障がい児（者）サッカーの普及育成、指導者・ボランティアスタッフの育成や障がい児（者）サッカー大会等の開催を行っている。	スポーツ 普及啓発	すべて（現在は主に知的障がい、自閉スペクトラム症、注意欠陥多動症、ダウン症等）
4	岩手県	一関手話サークルひろば	功労者	51	手話の普及、健聴者と聴覚障がい者の相互理解・交流を深めることを目的に、健聴者とうろ者が一緒に活動している。聴力に障害がある方（うろ者）から、その方々の言語である手話を学び、交流しながら共に活動し、地域の方々への理解を広めている。	情報保障 普及啓発 学習	聴覚障害
5	岩手県	みんなの居場所コミュニティカフェ	奨励活動	8	誰でも気軽に集える「みんなの居場所」として、フリースペースの開放と手芸等の創作活動、料理教室、屋外でのレクリエーション活動を行っている。料理教室は、単身者の障がい者や高齢者の孤食の防止を目的に、栄養士が監修・提案する季節のメニューを参加者で食べ、レクリエーション活動は、障がい者や高齢者等の外出機会の促進をねらった活動を行っている。	普及啓発	すべて
6	宮城県	塩竈市杉村惇美術館の市民共働プログラム	奨励活動	8	障害の有無に関わりなく、誰もが対等に文化芸術活動を享受・創造する場をつくる。特に、幅広い障害者が鑑賞、創造、発表等の多様な文化芸術活動に参加できる機会の拡充に努める。 2023年10月「Art for Well-being 表現とケアとテクノロジーと、東北のこれから」 2023年～「こちよい」の実践プログラム「発散のじかん/対話のじかん」 2018年～チルドレンズ・アート・ミュージアムしおがま 2016年～暮らしの市（エイブルアートの出展など）	文化芸術	すべて
7	宮城県	宮澤 典子	功労者	36	宮城県内の手話通訳者や手話学習者に学習・研究の機会を提供し、手話通訳等に関する集団的資質向上に貢献している。現在も、手話通訳に関する世界的組織、全国組織及び東北地区の役員を兼任し、世界や全国の情報を宮城県に還元し、宮城県の取組を全国に発信する役割を担っている。	情報保障 普及啓発	聴覚障害
8	秋田県	おらほの学び場	奨励活動	3	湯沢市にある地域生活支援拠点「愛光園」では、施設のもつ強みも生かしつつ地域の多様な主体を巻き込むことで、利用者と住民がともに作り上げる生涯学習講座「おらほの学び場」に取り組んでいる。行政や地元企業・団体と協力して、デジタル技術の学習、住民と共に行う防災フェスや交流会、カフェでの作品展示などを行い、地域に根ざした「生活者」たることを目指している。	学習 スポーツ 文化芸術 普及啓発	すべて
9	山形県	山形心体表現の会La・シヴァ	功労者	18	障がいの有無にかかわらず即興ダンスを通じ、コミュニケーションのきっかけをつくり、多様性を尊重した社会を目指して、心体表現活動の普及・支援に取り組んでいる。	文化芸術 普及啓発	すべて
10	茨城県	ひまわりの会	功労者	37	視覚に障害のある方のために、図書や広報紙等の情報を点字にして伝えるボランティア活動をしている。暑中見舞いや年賀状の作成を通して、利用者とボランティアの交流を図っている。	情報保障 学習	視覚障害者

番号	推薦者名	被表彰者	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
11	茨城県	結城ボイスフレンド	功労者	29	音訳を中心としたボランティア団体として定期的に市広報紙、社会福祉協議会広報紙等の音訳をCDに録音し、視覚障害のある方へ郵送している。個人からの依頼圖書の音訳も行っている。	情報保障	視覚障害
12	埼玉県	彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク	功労者	23	福祉教育・ボランティア学習の推進のために、市町村社会福祉協議会を通じて小中学校等で行われることへの福祉教育をはじめ、地域のボランティア養成などを行っている。障害当事者の社会参加の場を広げ、「共に生きる」ノーマライゼーション社会の醸成を図っている。	普及啓発学習	すべて
13	千葉県	NPO法人 若草の会	功労者	47	月に1回、中央公民館などを利用して音楽会や趣味講座などを実施している。	学習 スポーツ 文化芸術	知的障害、自閉症、情緒障害など
14	神奈川県	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川	功労者	29	知的障がいのある人たち(以下、アスリートと呼ぶ)に年間を通じて定期的・継続的にオリンピック競技に準じた様々なスポーツトレーニングの場とその成果の発表の場である競技会を提供するボランティア団体で、神奈川県下 36カ所で 15 の競技トレーニングを行っている。参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することを目的としており、ボランティア活動をする方々に対しては、障がい者に関する知識の啓発にもつながっている。	スポーツ 普及啓発	知的障がい者
15	富山県	鼓友 夢光組	功労者	21	地域の祭りやイベントでの和太鼓演奏、日本太鼓全国障害者大会への出場を目指して、仲間とのふれあいと和太鼓演奏の楽しさを大切にしながら活動している。	文化芸術	知的障害、自閉症
16	石川県	春風クラブ	功労者	33	年齢、性別、障害の有無を問わず、陸上競技を生涯にわたって楽しむために、平成3年に養護学校、特殊学級（当時；現特別支援学校・学級）の在校生・卒業生を中心に結成された。平成20年には、NPO法人かなざわ総合スポーツクラブに加入し、週2～5回（各自により異なる）の練習のほか、県選手権、国スポ予選会、県駅伝等をインクルーシブスポーツとして障害のない選手たちと共に出場しながら、パラスポーツとしてジャパンパラ陸上競技大会、日本パラ陸上競技選手権大会、日本ID陸上競技選手権大会他に出場している。	スポーツ 普及啓発	すべて
17	福井県	NPO法人ブレイヴ・ドルフィンズ福井	功労者	19	活動目的は、障がい者が水泳というスポーツ活動を通じて、心身の健康増進および機能回復を図り、障がい者の社会参加を促進することにある。活動は、毎週5日間の頻度で、2時間程度の練習を熱心に行っている。選手は、身体、知的、精神など、障がい特性や程度は幅広く対象としており、日々、競技力向上に励んでいる。	スポーツ 普及啓発	知的・身体
18	福井県	ビッグドルフィンズ	功労者	33	1991年に設立し、知的障がい者を対象としたソフトボールチームとして33年間活動を続けている。毎週日曜日、酷暑の日も雨の日、雪の日も、練習を欠かすことなく地道に取組を続け、全国大会優勝を目標に努力を重ねている。また、日々の練習だけではなく、県外チームや健常者チームとの練習試合や合同練習などの交流も積極的に行っている。ソフトボールを通じて、障がい者の余暇活動の充実や、障がい者同士のコミュニティー創出に繋がっている。	スポーツ 普及啓発	知的
19	愛知県	音訳ボランティア「安城ひびきの会」	功労者	43	・音訳活動 ・録音図書（CD）制作 ・対面音訳 ・福祉まつりや小学校での福祉学習講師	情報保障 普及啓発 学習	視覚障がい者
20	愛知県	障害者パソコン勉強会	奨励活動	25	たとえ障害が有ろうともパソコンを活用する事により、「もっと自由に、もっと楽しく、もっと充実した生活」が可能。ホームページから自分の趣味分野の情報を集めたり、遠く離れた孫や家族とのEメールの交換が楽しめるように、また視覚障害者の方が今まで読めなかった本をスキャナーで読んだり、色々な障害が有っても、新しい趣味や生き甲斐を見出し、仲間との交流を楽しんだり、色々な不自由を共有する仲間やボランティアとのふれあいを楽しみながら、共に学び、共に人間としての成長を目指して、毎日を楽しめるグループを「ありんこ」は目指している。	学習 情報保障 普及啓発	すべて
21	大阪府	長谷田 未佳	功労者	23	音楽療法士（有資格者）として、毎月、障害者の通所施設を定期訪問。通所している障害者の興味・関心、障害特性に合わせて歌を歌ったり、楽器を演奏するなどのプログラムを実施し、障害者の心身を整えるリハビリテーションを行う。	文化芸術	すべて

番号	推薦者名	被表彰者	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
22	大阪府	箕面市卓球協会	功労者	23	2001年から大阪府立稲スポーツセンターで卓球教室やスキルアップ練習会に講師を派遣し、2003年から知的障害者卓球大会「稲スポーツセンター杯」、2018年には第38回ジャパンオープンバドミントン大会の運営に協力し、地域の障害者スポーツの振興と競技力向上に貢献している。	スポーツ 普及啓発	知的障害者
23	兵庫県	楽しみながら社会性を育むチャング教室 (韓国伝統打楽器演奏サークル)	奨励活動	5	韓国伝統打楽器を演奏している団体。親子20人ほどが参加し、日曜日の午後2時～4時に練習(第1日曜日は自主練習、第2・4日曜日は講師による指導)を行っている。参加者は、小学生から30歳代までの軽度から重度の知的障害及び聴覚障害者である。地域のお祭りや講演会等での発表依頼が年々増え、演奏レベルも向上している。	文化芸術 普及啓発	知的障害、聴覚障害
24	兵庫県	豊岡市くすの木学校運営委員会	功労者	50	身体・知的障害者等が、社会人として幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、広く市民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する場を提供している。	学習 スポーツ 文化芸術	身体・知的
25	奈良県	社会福祉法人こだまの会	功労者	30	(1) 利用者の自立を支える活動 (2) 地域生活を支える活動 (3) 地域づくり活動	普及啓発 学習	すべて
26	和歌山県	東光 昭勇	功労者	20	19年間にわたって、障害のあるこどもの乗馬体験及びえさやり等の馬とのふれあい活動に取り組んだ。また、乗馬用の馬の貸出とともに、児童生徒が安全に乗馬体験できるよう、当日に向けて、馬やポニーのコンディションを整え、乗馬やえさやり体験の運営及びこどもへの支援を行った。	学習	知的障害、肢体不自由
27	岡山県	大学コンソーシアム岡山 障がい学生支援委員会	功労者	11	大学コンソーシアム岡山に障がい学生支援委員会が設置されている。その委員(岡山県内全大学の障がい学生支援担当者)が連携し、県内大学に進学・在籍する障がい学生が、在籍校で適切な合理的配慮を受けられるよう、大学教職員への普及・啓発活動を行ったり、支援者同士で知識やスキルの向上を目指した情報交換会等を行っている。	普及啓発 学習	障がいをもつ学生に関わる高等教育機関の教職員
28	広島県	あけぼの音訳グループ	功労者	42	市広報・市議会だより・市社会福祉協議会だより等の音訳、市社会福祉協議会行事への協力、勉強会の実施、各種研修会への参加、依頼に応じた音訳、特別支援学校の児童生徒を対象にした読み聞かせの実施。	情報保障 普及啓発 学習	視覚障害者
29	広島県	公益財団法人 広島県セーリング連盟	功労者	17	「誰でも乗れるように」とオーストラリアで考案され、重度障害のある方でも帆走できる「ハンゾット」について、練習会や体験会の実施、県内大会の開催、国内・海外大会への参加、国際大会の招致等。	スポーツ 普及啓発	すべて
30	山口県	山口県FIDバスケットボール連盟	功労者	20	・FIDバスケットボール大会の開催。 ・県外で開かれるFIDバスケットボール大会への参加、選手派遣。 ・FIDバスケットボール競技の普及、強化並びに支援者の拡大。 ・バスケットボール競技の普及、強化並びに支援者の拡大。	スポーツ 普及啓発	知的障害者
31	徳島県	加藤 幸代	功労者	33	身体障害者の相談員を始め、徳島県障がい者スポーツ協会の初代事務局長に就任するなど、33年にわたり、県内においての各種スポーツ大会、スポーツ教室、講習会等を企画・運営し、パラスポーツの普及と振興に取り組まれた。今後も、共生社会の実現にむけて取り組んでいるところ。	スポーツ	すべて
32	徳島県	徳島感覚運動指導研究会「ムーブメント教室」	功労者	39	パラシュート等を使った遊びを通じて、障がいのある幼児・児童の発達支援と教育相談を継続することで、障がいのある方の社会参加に尽力。また、スタッフの専門性向上、後継者育成の推進を通じて共生社会の発展に寄与。	スポーツ 学習	知的障がい ASD、ダウン症
33	長崎県	諫早コスモス音声訳の会	功労者	36	視覚に障害のある方の自立と社会参加の手助けを図るため ・図書及び広報誌等の録音製作 諫早図書館の蔵書として納め、視覚障害者だけでなく読書困難者にも貸出。音訳や、要望に応じ、対面朗読を行う。 ・視覚障害者との交流	文化芸術	視覚障害者
34	熊本県	朗読サークルあらお	功労者	40	・視覚障がい者への音訳CDの制作・発送 ・市立図書館録音図書制作 ・病院等での朗読ミニサロンや対面朗読 ・朗読勉強会の実施	学習 情報保障	視覚障がい者

番号	推薦者名	被表彰者	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
35	大分県	宇佐市自立支援協議会	功労者	16	様々な委託事業を活用して、2006年（平成18年度）より、障がいのある方の余暇活動支援として、①居場所づくり（フリースペースそよかぜ）②教養講座（ピアサポート教室）③普及啓発イベント（宇佐市民集会、ピアサポート・フェスティバル）④移動支援（かけはし号）⑤芸術文化活動（アトリエぐう）⑥一人暮らし体験事業の6つの取組を展開している。 中でも②「ピアサポート教室」は、平成19年度に宇佐市自立支援協議会の地域生活支援部会において、余暇の過ごし方に関するアンケートを行い、その回答を基に「将棋教室」「絵手紙教室」「料理教室」を開講したことから始まり、現在は「絵手紙教室」「音楽教室」「クッキングクラブ」の3つの教室を実施している。	文化芸術 普及啓発	すべて
36	大分県	社会福祉法人 みずほ厚生センター さぼーとセンター風車	功労者	15	2009年より、大分県臼杵市内在住の18歳以上の方（高校生不可）を対象に、生きがいづくりや社会参加を促進するため毎月「チャレンジ教室」を臼杵市障害者交流センター「すくらむ」にて開催している。 現在は以下の7教室 ①演歌ピクス、②絵手紙、③楽しい絵手紙、④革工芸、⑤おんがく倶楽部、⑥調理、⑦遊び体育 令和5年度は計95回、960名（うち障がいのある人529名）が参加し、地域における交流、学びの場として機能している。	学習 文化芸術 スポーツ	すべて
37	宮崎県	宮崎手話サークル「いもっこ」	功労者	53	聴覚障害者の権利拡大のために、手話普及活動を継続して行っている。聴覚障害者が地域社会で安心して生活するために、防災についての講演会や心肺蘇生に関する研修会などを定期的に開催している。一般市民に向けて手話講習会の運営・講師担当を行い、手話奉仕員また手話通訳者の育成に力を入れている。	情報保障 普及啓発 学習	手話講座受講生、サークル会員、一般市民
38	宮崎県	MIYAZAKI☆PHOENIXERS バレーボールクラブ（みやざきSUPER☆PHOENIX VC（男）&宮崎たいよう♡ふえにつくすVC（女））	功労者	28	1996年のチーム設立以来、毎月3回、女子チームは土曜日13時より延岡市内の支援学校体育館等、男子チームが日曜日13時より都城市内の障がい者スポーツ専用施設等で活動している。通年を通してバレーボールを主に活動しており、全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会や西日本地区の大会に参加している。冬季は都城市内の高等学校野球部とマラソンやバレーボールの交流会を実施している。	スポーツ	知的障がい者
39	鹿児島県	鹿児島手話サークル太陽	功労者	52	聴覚障害者の社会参加の促進及びいつでもどこでも手話で会話できる社会を目指して活動している。 具体的には、聴覚障害者と健聴者が集い、2つの会場においてそれぞれ4回（合計8回）の学習会を実施しており、交流を通じた手話の学び合いを行っている。 また、鹿児島市聴覚障害者協会等と連携を図りながら、様々な行事やボランティア活動にも積極的に参加し、地域社会に聴覚障害者についての正しい理解と認識を呼び掛けるなどの活動に取り組んでいる。	学習 普及啓発 スポーツ 情報保障	すべて
40	鹿児島県	パラスポおおすみ	奨励活動	8	老若男女問わず誰でも楽しめる「障害者スポーツ」や「アダプテッドスポーツ」を楽しむ集い「パラスポおおすみ」を開催している。 毎月第3土曜日を「パラスポの日」と定め、障害の有無や年齢に関係なく、フライングディスクやポッチャなどのパラスポーツを通して、誰でも気軽に楽しめる場をつくるために活動している。	スポーツ 普及啓発	すべて
41	仙台市	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	功労者	30	障害のある人をはじめ、生きにくさを抱えている人たちと共に、障害の種類や有無をこえて、次の活動を実践し、アートを通して、だれもが豊かに生きることのできる社会の実現に向けた取組みを展開している。 ・芸術文化活動を通して、自らを自由に表現する場やしぐみをつくり、より多くの選択肢の中から豊かな生き方を発見することをサポートする。 ・作品を発表する環境や販売する環境を整える。 ・美術作品や舞台芸術作品などにさまざまな手段を用いてアクセスするための機会と環境を整える。	文化芸術	すべて
42	岡山市	岡山市立図書館朗読奉仕の会	功労者	47	活字での読書が困難な方へ向けて、録音図書製作や対面朗読を行っている。録音図書は図書の他、市の広報紙や市議会だよりなど暮らしに必要な情報も音訳している。	学習 情報保障	視覚障害者等

番号	推薦者名	被表彰者	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
43	愛知教育大学	愛知教育大学動作法月例訓練会	功労者	51	発達支援技法である動作法による発達支援活動（訓練会）を毎月1回実施している。この活動は50年にわたり続いており、活動への参加が障害者のライフワークとしての心身のセルフケア及び保護者の情報交換や学びの場となっている。また、大学での教育課程外の活動として実施することで、ボランティア学生の専門性向上や動作法の普及にも繋がっている。	普及啓発	肢体不自由者、知的障害者
44	香川大学	塩田 友亮	功労者	20	「香川県知的障がい者生涯スポーツクラブ」を通して、知的障害児者が生涯にわたってスポーツ活動に参加する機会を提供するとともに、競技力の向上をめざした専門的な陸上競技指導を行うことで、生涯スポーツを促進している。現在、インクルーシブなスポーツ活動に取り組み始めている。	スポーツ	知的障害
45	公立大学法人 都留文科大学	都留文科大学地域交流研究センター地域インクルーシブ教育分野	功労者	10	地域インクルーシブ教育分野は、地域の特別なニーズのある人たち（およびご家族）への教育・心理的支援とインクルーシブな地域づくりを推進することを目的としている。この分野の主要な活動は以下である。 ① 特別なニーズのある人たちの週末の居場所づくり「クロスボーダープロジェクト」 ② 特別なニーズのある若者たちのキャリア形成支援「キャリアデザインワーク」	スポーツ 文化芸術	知的障害・精神障害・身体障害・重複障害
46	障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク	太陽生命保険株式会社	功労者	12	同社が栃木県那須塩原市の国有林を借り受け、森林整備活動を続けている「太陽生命の森林（もり）」にて、地元栃木のダウン症のあるお子さんとその家族を招き、毎年森林教室を開催。同社社員のボランティアも多数参加し、広場や簡易トイレ等も整え、野点（のたて）、ヨガ教室、工作教室、歌とダンス、音楽鑑賞など多彩なプログラムを提供し、新緑の森での1日を楽しむ。	学習 文化芸術	ダウン症
47	公益財団法人日本パラスポーツ協会	一般社団法人日本障がい者乗馬協会	奨励活動	29	馬を介した障がい者の活動支援を目的に、全国大会や国際大会の開催、各種資格発行、国際大会への選手派遣、障がい者乗馬の普及活動を実施。合わせてパラリンピック正式種目である馬術競技の日本統括団体としてIPC及びFEI競技への派遣や強化活動を実施。多くの方に障がい者と馬の活動を知って貰い、また参加して貰える様な学校機関への普及活動を強化し実施。	スポーツ	すべて
48	公益財団法人日本パラスポーツ協会	特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟	奨励活動	29	障がい者のスポーツ射撃を振興し、国際競技大会等で活躍できる選手の育成・強化や、競技の普及のための体験会の実施、指導者や国際審判員の養成を行い、障がい者のスポーツ射撃を通じて、社会的自立を促進し、共生社会の実現に寄与している。	スポーツ	肢体不自由、内部障がい、知的障がい等